

## 声明

# 北朝鮮の核実験に抗議する

被爆者は、満身の怒りをこめて北朝鮮の核実験に抗議する。7月7日採択された核兵器禁止条約は核兵器の実験、使用はおろか威嚇も禁止している。核兵器の禁止は今や世界の潮流である。今回の核実験はこの潮流に背を向け、後戻りさせる暴挙であり、断じて容認できない。

核兵器の使用を言い合うトランプ大統領と金正恩委員長は、核兵器がどんなものか知っているのだろうか。広島・長崎に投下された原爆は、一瞬にして街を壊滅し、多くの命を奪った。それは、この世の出来事とは信じられない生き地獄であった。かろうじて生き延びた被爆者も熱線、爆風、放射線を受け、いのち、からだ、くらし、こころに受けた傷は深く、その苦しみは72年経った今も続いている。

被爆者は、アメリカの原爆投下を許さない。しかし、報復を求めたことはない。地球上の誰にも同じ苦しみを味わわせてはならない。核戦争を起こすな、核兵器をなくせ、ふたたび被爆者をつくるなは被爆者の願いである。いかなる国の核実験、使用、威嚇も認めない。

被爆者は、日本政府に要求する。

核兵器禁止条約に署名し、批准すること。

唯一の被爆国として、また国際紛争の解決を武力によらないことを定めた憲法を持つ国として、同盟国アメリカを説得、隣国北朝鮮を促して対話による解決に尽力すること。

2017年9月6日  
日本原水爆被害者団体協議会